

## 令和3年度第2回大野市地下水対策審議会の概要

日 時 令和4年1月27日(木)  
午後1時30分～2時30分  
場 所 大野市役所 大会議室

### 1. 開会

会長あいさつ

### 2. 議 事

#### (1) 報告事項

##### ① 令和3年11月の記録的な地下水位の低下について

- ・事務局から資料1に基づき説明を行った。
- ・委員からの意見等は次のとおり(要旨)

○委員 : 地下水位が低下すると水質が悪くなり、生水を飲んだら駄目と聞いたが、地下水位の低下と水質に関係性はあるのか。

→事務局 : 井戸の深さにもよるが、普段飲んでいる地下水は、降った雨をそのまま汲み上げているわけではなく、上の方から徐々に動いている。降った雨がそのまま飲み水に入れ替わっているわけではないので、あまり心配することはない。ただ、地下水位が下がってくると、濁りが出るというような報告もある。そういう場合は、気をつけないといけない。

○委員 : 地下水シミュレーションで流入と流出のグラフがある。

地下水が枯渇した際に、南新在家の水門から横枕を通過して清滝川の川底を歩いてみた。南新在家の水門のあたりから横枕の橋あたりまで、川が乾いているにも関わらず地下水が出てきている状態にあった。このシミュレーションの流出量は計算で出されたものか。

→事務局 : このシミュレーションは、平成14年度の大野市地下水総合調査がベースになっている。平成23年度時点のデータを加えて修正し、算出している。清滝川だと、中部縦貫自動車道の大野インターチェンジあたりまでは、地下水が川床に浸透している区間であり、大野インターチェンジから下の方は、逆に川底から湧き出ている区間になる。この河川流出量93%という数値は、大野盆地全体の試算で、出たり入ったりしながら最終的に大野市に降った雨の93%が川の水となって出ていくということでご理解いただきたい。

○委員 : 河川への流出量が93%とは、量的に多いと感じる。

川を歩いた際に、地下水が出ているところを地図上にプロットしたいと思った。また、地下水が流出している清滝川や木瓜川などの大きい川を、ドローンを使って上空から記録するといったのではないかと思った。市としてカメラ

付きのドローンが1台あると地下水の関係だけでなく、様々な分野でも使えるのではないか。

○委員 : 10月20日以降に、かつてない環境破壊が起こったが、市民からどうなっているのかといった問い合わせは何件くらいあったか。

→事務局 : 件数はそれ程多くなく、数十件程度であった。

○委員 : 市民が環境に対してあまり関心がないのが問題である。

また、地下水位は雨が降ると戻るが、生き物に関しては、どれぐらいの期間で戻ると推測しているのか。植物や魚類を含めた水生生物についても、ぜひ検証して欲しい。

○委員 : 真名川頭首工工事について、かなり影響があったのではないかとどう考えているのか。

→事務局 : 全く影響がないわけではないが、今回は上流の方からの水も、降水量の影響により少ない状態であった。この中で、農業用水路に水がなく、川に水がなくなってしまったということに関しては影響があったと思う。ただ、これほど渇水になったのは、降水量が少なかったということが一番の要因だと考えている。

## (2) 協議事項

### ① 大野市水循環推進協議会への委員の選出について

- ・事務局から資料2に基づき説明を行った。
- ・審議会の中から島田副会長を推薦することに決定した。

## (3) 依頼事項

### ① 内閣官房水循環政策本部事務局からのアンケート調査実施依頼について

- ・事務局から当日配布したアンケート用紙に基づいて説明を行った。
- ・委員からの意見等は次のとおり(要旨)

○委員 : このアンケートの雛形は内閣官房の方から出たものか、それとも、市が作成したものなのか。また、このアンケートの回答者は審議会委員だけなのか、その他市民なども回答するのか。

→事務局 : アンケートの作成は、内閣官房水循環政策本部事務局が行っている。アンケートの回答者の対象についても、国から指定をされている。地下水対策審議会委員と、大野市水循環基本計画を策定するにあたって審議していただいた協議会委員の方にも回答していただく。

### ② シャワーヘッド等の購入助成制度の周知について

- ・事務局から資料3に基づき説明を行った。
- ・委員からの意見等は次のとおり(要旨)

○委員 : 申請はどれくらいでているのか。

→事務局 : 40 件ほどである。

○委員 : 節水シャワーヘッドは節水できるのか。

→事務局 : 最近のシャワーヘッドだと、節水率 30%という機器よりも 50%~60%まで節水効果のある機器が販売されている。皆様の事業所などで、節水機器を使うよう普及していただけたらということで紹介した。また、お湯と水の蛇口がそれぞれある水栓をタッチ式の自動式水栓に変えていただくのも対象となる。水の使用量が多い事業者がいたら、ご検討いただきたい。

### 3. その他

<工業団地での地下水採取について>

○委員 : 富田の産業団地に誘致される会社に、地下水採取の規制等があるのか。

→事務局 : 富田エリアだと、地下水保全条例の規制対象外になる。規制はないが、個別に企業と協議している。内容についてはまだ決まってない。このエリアだと、地下水を汲み上げようと思うとかなり深く井戸を掘らないといけない。それも含めて今後また詰めていく。

<下水工事による水みちについて>

○委員 : 下水工事によって水みちが変わると聞いたがどうか。

○委員 : 地下水位が高いところは施工できないので、強制的に水揚げする時は、一瞬変わるようである。ずっと続くということはあまり聞いたことがない。

<湧水地における水質表示について>

→事務局 : 第 1 回の会議の中でご意見をいただいた湧水地における水質表示について、その後のご報告をさせていただく。市が管理する湧水地で飲み水として利用できる場所、6 か所（石灯籠会館清水、御清水、新堀清水、清水広場、義景清水、本願清水）について、掲示板などへ水質結果の表示を行った。今後も、新たに水質検査を実施した際は、1 ヶ月をめどに表示内容を更新したい。

### 4 閉会

副会長あいさつ